

港区と静岡市の子どもたちの

朗読・ミュージカル

保健室ものがたり

原作:こんのひとみ／脚本:トマス・オマリ

港区の朗読ワークショップと静岡市のミュージカルワークショップ、
それぞれの地で驚きや感動、気づきの体験をした子どもたちが朗読とミュージカルで共演します。
養護教諭の暖かなまなざしを通して見えてくるけなげに生きる子どもたちと家族のお話です。

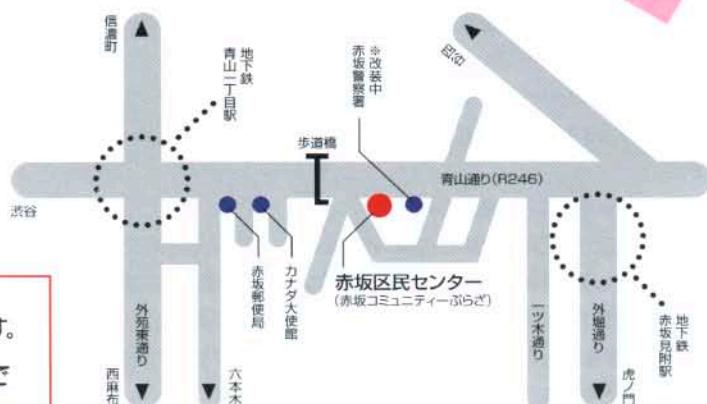
原作者・こんのひとみさんも歌や語りで出演します。



日時:平成21年3月26日(木)
午後3時~4時45分(午後2時30分開場)

会場:赤坂区民センターホール
港区赤坂4-18-13 赤坂コミュニティーぷらざ3階

入場無料(先着400名)
直接会場へお越しください。



手話通訳と一時保育がつきます。

保育(生後4ヶ月以上就学前まで
20名申込順)をご希望の方は、
みなとコールセンター
(TEL 03-5472-3710)へ
3月23日(月)までにお電話ください。

赤坂地区総合支所では、地域住民や団体・地元企業などとの連携と協働により、次世代を担う子どもたちの表現力・創造力を養い、生きる力を育む場を提供する「**赤坂・青山 子ども中高生共育事業**」を開始します。

赤坂・青山地域で活躍する人々と地域の子どもたちをつなぐ仕組みを作り、小・中学生、高校生を対象に「驚き・感動・気づき」の機会となる講座や様々な分野で活躍しているプロフェッショナルとの交流の場を提供し、地域ぐるみでの子育てを進めます。

その事業の試行講座として、朗読ワークショップを行いました。

朗読ワークショップ in 赤坂

港区の図書館で読み聞かせをしているボランティアグループの指導を行っているボイストレーナー 茂川義和先生から呼吸・発声・リズムなどを基礎から学びました。

先生の豊かな音声による表現は聞き手を物語の情景へワープさせます。まるで爺さまが…幼子が…すぐそこにいるかのような驚きの表現力!先生の熱心な手ほどきにより、「保健室ものがたり」を題材に声の魔術師めざしてがんばりました。

講座実施:3月14日(土)・17日(火)・21日(土)

場所:港区立赤坂図書館



原作者 こんのひとみ プロフィール

絵本作家・エッセイスト・シンガーソングライター・ラジオパーソナリティー

二児の母として子育ての中で生まれた『子守歌』が注目を集め、2001年自らが作詞作曲した「パパとあなたの影ぼうし」がNHK「みんなのうた」で放送される。太田裕美さんの歌唱で流れたこの楽曲が大反響を呼び、作者についての問い合わせが殺到し、ソニーミュージックより自身のメジャーデビューアルバム「ちいさな声～パパとあなたの影ぼうし～」をリリース。

最新CDは、ミュージカル「保健室ものがたり」の主題歌「キミノものがたり」(はなわ作詞作曲)や太田裕美さんとの共作&デュエット曲を含む「保健室ものがたり～School Days～」(オーマガトキ)。

エッセイや詩集など著書も多数出版。

「くまのこうちょうせんせい」(金の星社)は、こんのひとみと親交があった故大瀬敏昭校長先生(余命告知を受けながらも「命の授業」を続けられた)がモデル。この作品は全国各都道府県で推薦図書、課題図書等に取り上げられた。

最新刊は、「いつもいっしょに」(金の星社)。第18回けんぶち絵本の里「ひばからす賞」を受賞した。

本日上演するミュージカルの原作である「保健室ものがたり」(ポプラ社)は、出前ライブで訪れた学校で出逢った本当のお話。養護教諭の暖かなまなざしを通して見えてくるけなげに生きる子どもたちと家族の12のお話である。

現在、TBSラジオ「夢をかなえよう」(毎週日曜朝8時~)に、「保健室ものがたり」の主題歌「キミノものがたり」を作詞作曲した はなわさんとレギュラー出演中。

ミュージカルワークショップ in 静岡

2008年8月、静岡市民文化会館で保健室でのできごとを子どもミュージカル化したJKMキッズミュージカル「保健室ものがたり」(原作:こんのひとみ)が上演され心温まる感動のなか大成功を収めました。

このミュージカルは、静岡青年会議所OBが中心となって実行委員会を立上げ、市内の小学4年生から中学3年生の子どもたちを対象に、オーディションを経た総勢50数名が、地域の人々や保護者のサポートを受け5ヶ月間にわたる稽古を重ねて上演されました。

JKMキッズミュージカルは、子どもたちに歌や踊りの練習だけでなく、夏の合宿や毎回の稽古の後で「授業」を行います。

家族の絆の大切さや夢を持ちチャレンジすることの大切さを伝えるため、学生やボランティアスタッフが先生となり、あるときは、「夢」や「家族」をテーマにディスカッションを行い、またあるときは、登場人物の心理や家庭環境などについて考え学びました。

こうして50数名の子どもたちは、厳しい稽古を乗り越えた達成感とその先に広がる「自分自身の可能性」に気づき、「生きる力」を感じることができました。また、年齢や性格、環境の異なる子どもたちの交流が始まり、かけがえのない友情も生まれました。